

# 2013 年度第 1 四半期決算報告書

## 参考和訳

プレスリリース  
2013 年 5 月 3 日、パリ発

厳しい経済環境の中、株主帰属純利益 16 億ユーロを達成

リテールバンキングおよびインベストメント・ソリューションズ部門が健闘  
コーポレートバンキング・投資銀行部門には変革途上の四半期

事業部門の営業収益  
2012 年第 1 四半期比 5.9%減にとどまる

営業費用を抑制

事業部門の営業費用:  
2012 年第 1 四半期比 6.4%減  
「SIMPLE & EFFICIENT (簡素化および効率化)」計画を速やかに始動

リスク費用を適切に管理

リスク費用: 2012 年第 1 四半期比 3.5%増

流動性の状況は極めて良好

安定的な資金調達により余剰資金が一段の増加  
2013 年 3 月末現在 790 億ユーロの余剰金  
(2012 年 12 月末比 100 億ユーロ増)

全ネットワークを通じて預金の集積が高水準で推移

リテールバンキング部門の預金残高: 2012 年第 1 四半期比 6.2%増

高い自己資本比率

エクイティ Tier 1 比率: 11.7%  
バーゼル 3 基準全面適用のエクイティ Tier 1 比率: 10.0%



2013年5月2日にBNPパリバ取締役会が開催され、ボードゥアン・プロ会長が議長を務めるなか、当グループの2013年度第1四半期の業績が検討されました。

## 厳しい経済環境の中、株主帰属純利益 16 億ユーロを達成

欧州の脆弱な経済環境下において、BNPパリバグループの2013年度第1四半期の営業収益は100億5500万ユーロに上り、2012年第1四半期と比べて1.7%の増収を果たしました。当四半期の営業収益には、次の2つの一時項目が純額で1億4900万ユーロ貢献しています：すなわち、自己負債の再評価に関わる修正額が-2億1500万ユーロの減収要因であったのに対し、IFRS（国際会計基準）第13号「公正価値測定」の下、「債務価値調整」（Debit Value Adjustment : DVA）を新規適用したことによる影響が+3億6400万ユーロの増収要因となりました。事業部門においては、当四半期の営業収益の合計額は前年同期比5.9%の減収となりました。リテールバンキング部門<sup>1</sup>（前年同期比+0.2%<sup>2</sup>）およびインベストメント・ソリューションズ部門（同+3.4%<sup>2</sup>）は健闘しましたが、コーポレートバンキング・投資銀行（CIB）部門において当四半期は、事業適応計画を完了した今、変革の過渡期となりました（前年同期比-20.2%<sup>2</sup>）。

営業費用は65億1400万ユーロとなり、前年同期比4.8%の改善により、コスト管理が極めて良好であることを証明しました。当四半期の営業費用には、“Simple & Efficient”（簡素化および効率化）計画への取組みに関わる、変革のための一時費用1億5500万ユーロが含まれていました。リテールバンキング部門<sup>1</sup>の営業費用は-1.9%<sup>2</sup>と若干減少し、インベストメント・ソリューションズ部門では+1.5%<sup>2</sup>の微増であったのに対し、CIB部門においては-15.2%<sup>2</sup>と大幅に減少しました。

当四半期の営業総利益は前年同期比16.4%の増益となり、35億4100万ユーロに上りました。なお、事業部門合計では前年同期比5.3%減少しました。

グループのリスク費用は当四半期に9億7800万ユーロとなり、融資残高の60bpに相当しました。同リスク費用の額は、前年同期と比べて3.5%の増加にとどまり依然として低い水準であることから、グループの確かなリスク管理能力を証明しています。

営業外項目は、当四半期において5200万ユーロの収益となりました。同項目は、前年同期において18億4400万ユーロに上りましたが、そのほとんどはグループのクレピエール株式の28.7%持分の売却益、17億9000万ユーロの一時項目が占めていました。

これにより、グループの税引前利益は当四半期に26億1500万ユーロとなり、前年同期比33.6%減少しました。なお、事業部門合計の税引前利益は、前年同期と比べて8.1%の減少にとどまりました。

以上から、BNPパリバは当四半期に純利益（株主帰属純利益）15億8400万ユーロを計上し、前年同期と比べて44.8%の減益となりました。当四半期において特別項目が純利益に及ぼした影響は僅少でした（-600万ユーロ）。これに対し、2012年度第1四半期における特別項目から純利益への影響は、法人税および少数株主損益の考慮後で、+8億2900万ユーロに上りました。

グループの自己資本比率は、当四半期も高水準を維持しました。バーゼル2.5基準に基づくエクイティ Tier 1 比率（資本要求指令 3 : CRD3）は11.7%となり、また、バーゼル 3 基準全面適用に基づくエクイティ Tier 1 比率<sup>3</sup>は10.0%を確保しました。これによりBNPパリバは、世界で最も自己資本の充実したグローバル銀行のひとつであることが確認されました。

1株当たり純資産額<sup>4</sup>は、当四半期末現在61.7ユーロとなり、2008年12月末からの年平均成長率は6.5%を達成しました。これは、BNPパリバが、景気サイクルを通して1株当たり純資産額を成長させる能力を有していることを証明するものです。

<sup>1</sup> 国内ネットワークのプライベート・バンキングの100%を含み、PEL/CELの影響を除く。

<sup>2</sup> 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除く。

<sup>3</sup> 経過措置なしで全ての資本要求指令 4（CRD4）規則を考慮した、エクイティ Tier 1 比率。なお、CRD4は2019年1月1日以降に発効するものであり、また、その内容はBNPパリバの予想に基づいている。

<sup>4</sup> 再評価を含まない。



さらに、グループの機能のしかたを簡素化し業務効率の向上を図る意欲的な計画である”Simple and Efficient”が、速やかに始動されました。当四半期に 1 億 5500 万ユーロに上る変革計画のための費用が計上され、また数多くのプロジェクトが開始されようとしています。かかるプロジェクトには、BNPP フォルティスおよび BNL バンカ・コメルシアレで既に発足した早期退職制度や、ソフトウェアプログラム数の縮小・合理化に加え、コンピュータープログラム開発を大規模化し、さらには業務のペーパーレス化（電子文書および保管による）を図る計画などが含まれています。

グループはまた、BNP パリバの欧州デジタルバンクを立ち上げる準備を整えています。これは純粋なモバイルバンキングおよびオンラインバンキング業務であり、グループの 2014-2016 年度事業開発計画の一部を構成しています。

\*  
\* \*

## リテールバンキング事業

### 国内市場部門

当四半期において、国内市場部門の事業活動の結果、預金残高が前年同期末と比べて 6.1%増加し、また全てのネットワークで増加傾向が維持されました。融資残高は、需要が引き続き減速したことから、前年同期末比 1.6%減少しました。法人顧客セグメントでは、キャッシュマネジメント業務の継続的な開発が功を奏し、全ての国で提供される商品の調整がとれるとともに、フランスおよびベルギーで No.1 の地位を、またイタリアでは No.3 の地位を獲得しました。個人客セグメントに関して、国内市場部門は、導入日がせまっている BNP パリバの欧州デジタルバンクに協力を呼びかけました。同バンクは、純粋なモバイルバンキングおよびオンラインバンキングとして、ベルギー、ドイツ、フランスおよびイタリアで業務を展開して行きます。

当四半期の営業収益<sup>1</sup>は 39 億 8900 万ユーロとなり、前年同期からは微減 (-0.8%) でしたが、その背景には長引く低金利環境および融資の伸び悩みがありました。このような状況を受け、国内市場部門は速やかにそのコスト体質を調整しているところです。当四半期において営業費用<sup>1</sup>は 1.4%減少し 24 億 3300 万ユーロとなり、これにより営業収益対コスト比率は 0.3 ポイント改善し 61.0%<sup>1</sup>へと低下しました。

営業総利益<sup>1</sup>は当四半期に 15 億 5600 万ユーロに上り、前年同期から横ばいでした。

以上から、イタリアにおけるリスク費用の上昇を考慮し、またプライベート・バンキング事業の純利益の 3 分の 1 を、国内市場部門からインベストメント・ソリューションズ事業へ配分した後、当四半期の税引前利益<sup>2</sup>は、困難な環境にもかかわらず、10 億 8900 万ユーロに上り前年同期と比べて 5.2%の減益にとどまりました。

<sup>1</sup> フランス（PEL/CEL の影響を除く）、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクの国内プライベート・バンキングの 100%を含む。

<sup>2</sup> PEL/CEL の影響を除く。



## フランス国内リテールバンキング (FRB)

フランス国内リテールバンキング (FRB) 部門による活発な顧客サポート活動は、熱心な販売およびマーケティング活動に表れ、預金残高の増加 (2012 年度第 1 四半期末比 5.6% 増) として実を結びましたが、特に普通預金の高い伸び (+8.3%) がこれを牽引しました。融資残高は、当四半期においても借入需要が減速し、前年同期末比 2.7% 減少しました。それでも、零細企業 (VSE) および中小企業 (SME) に対するサポートを継続し、また 2012 年 7 月に発足した「4 万のプロジェクトに 50 億ユーロの融資 (€5bn and 40,000 projects)」運動が成功を収めた結果、これら顧客セグメントに対する融資残高が増加しました (+2.1%<sup>1</sup>)。FRB の事業活動および革新的な能力はまた、モバイルインターネット利用者数の増加にも表れています。同利用者数は 2012 年 3 月末から 33% 増加し、月間利用者数は 665,000 人を超えました。

当四半期の営業収益<sup>2</sup>は 17 億 7600 万ユーロとなり、前年同期比 2.0% の減収でした。低金利環境が長引いたことと融資残高の伸び悩みが相まって、純利息収入は 1.6% 減少しました。手数料収入は、需要低迷のあおりを受けた一部の小売業者や法人顧客の動向に沿ったかたちで、2.6% 減少しました。

業務効率が引き続き改善したおかげで、営業費用<sup>2</sup>は前年同期比 1.8% 減少するとともに、営業収益対コスト比率は 60.9%<sup>2</sup>へと低下しました。

営業総利益<sup>2</sup>はこれにより 6 億 9500 万ユーロとなり、前年同期比 2.4% 減少しました。

リスク費用<sup>2</sup>は前年同期から横ばいで推移し、融資残高の 22bp 相当で依然として低い水準にとどまりました。

以上から、フランス国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をインベストメント・ソリューションズ事業へ配分した後、FRB の当四半期の税引前利益<sup>3</sup>は 5 億 8200 万ユーロとなり、前年同期比 2.2% の減益となりました。これは、景気減速という環境にありながらも堅固な業績を収めたことを意味します。

## BNL バンカ・コメルシアーレ (BNL bc)

BNL バンカ・コメルシアーレ (BNL bc) の事業活動の成果として、当四半期末の預金残高が前年同期末と比べて 9.6% の伸びを果たしました。個人客、法人顧客、および地方行政機関・公共団体を含め全体的に高い伸びを示しました。融資残高は、借入需要の減速を受けた業界動向に沿ったかたちで、前年同期末と比べて平均で 2.5% 減少しました。

当四半期において、営業収益<sup>4</sup>は前年同期比 +0.9% と若干の伸びを果たし、8 億 2300 万ユーロに上りました。純利息収入は、融資が伸び悩んだ一方でマージンが底堅く推移したことから、前年同期比 0.4% の微減にとどまりました。手数料収入は、前年同期比 3.3% の増加でした。これには、オフバランスの貯蓄商品が健闘したおかげで、新規融資の減少や新規規制の影響を相殺したことが反映されています。

コスト削減への取組みは、IT および不動産分野でとりわけ効果が発揮され、営業費用<sup>4</sup>が前年同期比 1.6% 減少して 4 億 3800 万ユーロとなりました。これにより BNL bc の営業収益対コスト比率<sup>4</sup>は 1.3 ポイント改善し 53.2% へと低下しました。

当四半期の営業総利益<sup>4</sup>は 3 億 8500 万ユーロに上り、前年同期と比べて 3.8% の増益を果たしました。

<sup>1</sup> 出典：フランス銀行 (独立系 VSE & SME)、年次スライド方式に基づく。

<sup>2</sup> PEL/CEL の影響を除き、フランス国内プライベート・バンキングの 100% を含む。

<sup>3</sup> PEL/CEL の影響を除く。

<sup>4</sup> イタリア国内プライベート・バンキングの 100% を含む。





リスク費用<sup>1</sup>は、前年同期比 35.2%増加し、また 2012 年度第 4 四半期と比べて 4.6%増加した結果、当四半期末における融資残高の 145bp 相当となりました。

以上から、BNL bc は業務効率の一段の向上を果たしたものの、イタリア国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をインベストメント・ソリューションズ事業へ配分した後、BNL bc の税引前利益は 8400 万ユーロとなり、前年同期比 42.9%の減益となりました。これにはイタリアの景気後退のあおりを受け、リスク費用が積み上がったことが大きく影響しています。

### ベルギー国内リテールバンキング (BRB)

ベルギー国内リテールバンキング (BRB) は、当四半期に概して良好な業績を収めました。預金残高は、当座預金および普通預金の高い伸びが牽引し、前年同期末と比べて 4.3%増加しました。融資残高は、とりわけ個人客への貸出が伸びた (+3.6%) ことに加え、中小企業への融資が堅調に推移したこともあり、全体で 2.1%の増加でした。ただし、融資の伸び率は減速傾向にありました。

BRB は、“Bank for the future” (バンク・フォア・ザ・フューチャー) への取組みを一層推し進めました。これは、顧客動向の変化を先取りするための意欲的な 3 か年計画であり、そこではオンラインバンキングを拡充するとともに、ネットワークおよび全従業員をこれらの変化に適応させるものです。これにより、営業収益対コスト比率の改善を目指します。

当四半期において、営業収益<sup>2</sup>は前年同期と比べて 0.4%減少し 8 億 3800 万ユーロとなりました。純利息収入は、低金利環境の長引きで 1.0%減少しましたが、一方、手数料収入は、オフバランスの貯蓄商品が伸びたおかげで 1.9%増加しました。

業務効率改善への取組みが奏功し、当四半期の営業費用<sup>2</sup>は 5 億 9800 万ユーロとなり、前年同期と比べて 1.0%の減少でした。これにより BRB の営業総利益<sup>2</sup>は前年同期比 1.3%増加しました。これを受けて、営業収益対コスト比率<sup>2</sup>は、前年同期から 0.4 ポイント改善し 71.4%となりました。

当四半期のリスク費用<sup>2</sup>は、前年同期と比べて 1600 万ユーロ減少しましたが、融資残高の 10bp 相当というのは、かなり低い水準といえます。以上から、ベルギー国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をインベストメント・ソリューションズ事業へ配分した後、BRB の税引前利益は 2 億 500 万ユーロに上り、前年同期と比べて 7.3%の増益を果たしました。

**ルクセンブルク国内リテールバンキング**：当四半期末において、融資残高は前年同期末と比べて 4.0%増加しましたが、これには法人への貸出および住宅ローンの堅調な伸びが寄与しました。また、法人顧客セグメントからの旺盛な資金流入が特に貢献し、預金残高も高い伸びを示しました (+10.8%)。当四半期において、営業収益は取引高の拡大に伴い増加し、また営業費用の抑制努力も実を結んだことから、営業収益対コスト比率は大幅に改善しました。

**個人投資家部門**：当四半期末において、運用資産残高は、旺盛な純資金流入を受けて、前年同期末比 8.5%の高い伸びを示しました。また、新規顧客の順調な増加が預金残高の高い伸びに貢献し (+15.9%)、当四半期末における預金残高は 100 億ユーロへと急増しました。ただし、営業収益は、仲介業務が低迷したため前年同期と比べて減収になりましたが、それでも前四半期からは復調となりました。また、営業費用が激減したことにより、当四半期の営業総利益への押し上げ効果がありました。

**アルバル**：連結ベースのリース・フリートは、当四半期末において前年同期末比 2.6%の伸びを示しました。営業収益は、マージンが底堅く推移したおかげで、当四半期に増収となりました。営業費用の確かな管理により、営業収益対コスト比率は前年同期から改善しました。

<sup>1</sup> イタリア国内プライベート・バンキングの 100%を含む。

<sup>2</sup> ベルギー国内プライベート・バンキングの 100%を含む。



**リース・ソリューションズ**：当四半期末において、リース資産残高は前年同期末比で **8.1%**減少しましたが、これはノンコア資産に関する事業適応計画に沿ったものです。ただし、取引の収益性を重視する選択的な方針のおかげで、リース資産残高減少が当部門の営業収益に対して及ぼした影響は限定的でした。効果的なコスト管理のおかげで、当四半期の営業収益対コスト比率は、前年同期から安定推移しました。

全体では、これら **4** つのビジネスユニットによる国内市場部門の税引前利益への貢献は、ルクセンブルク国内プライベート・バンキング業務の純利益の **3** 分の **1** をインベストメント・ソリューションズ事業へ配分した後、前年同期と比べて微増 (**+0.9%**) の **2** 億 **1800** 万ユーロとなりました。

\*  
\* \*

### **欧州・地中海沿岸諸国**

当四半期において欧州・地中海沿岸諸国部門は、積極的な販売およびマーケティング活動による成果を収めました。預金残高は前年同期末比 **14.5%**<sup>1</sup> 増を達成しましたが、トルコ (**+30.4%**<sup>1</sup>) を始めとするほとんどの国で伸びました。融資残高は前年同期末比 **6.0%**<sup>1</sup> 増加し、トルコでの健闘 (**+20.4%**<sup>1</sup>) がこれを牽引しました。販売およびマーケティング活動はまた、モロッコおよびチュニジアでマルチチャネルセールスが開始されたことや、トルコで **CIB** とインベストメント・ソリューションズ部門の間でクロスセリングが大幅に伸びたことなどにも表れています。

当四半期において、営業収益は **4** 億 **7400** 万ユーロに上り、前年同期と比べて **15.9%**<sup>1</sup> の増収を果たしましたが、特にトルコでの営業収益の大幅増 (**+36.1%**<sup>1</sup>) がこれを牽引しました。

当四半期の営業費用は **3** 億 **2700** 万ユーロとなり、前年同期と比べて **3.7%**<sup>1</sup> 増加しました。トルコでは、当四半期に **23** の支店開設があったことから、前年同期比 **15.4%**<sup>1</sup> 増加しました。欧州・地中海沿岸諸国部門は、様々なネットワークについて規模の適正化を図るための **1** 年がかりの取組みを当四半期も継続しました。例えば、モロッコで **23** 支店を開設した一方、ウクライナでは **41** 支店を閉鎖しました。

リスク費用は **7100** 万ユーロで、当四半期末融資残高の **115bp** 相当となりましたが、前年同期と比べて **1900** 万ユーロの減少でした。以上から、欧州・地中海沿岸諸国部門は **9600** 万ユーロの税引前利益を計上し、前年同期から利益の急回復 (**3.3x**<sup>1</sup>) を果たしました。

### **バンクウェスト**

バンクウェストは当四半期において好業績を収めました。預金残高は、当座預金および普通預金の伸びが牽引し、前年同期末比 **4.4%**<sup>1</sup> 増加しました。融資残高は、法人向け融資が好調 (**+11.8%**<sup>1</sup>) であったことに加え、中小企業 (SME) に集中した販売およびマーケティング活動が功を奏し、当四半期末において **3.9%**<sup>1</sup> 増加しました。このような良好な営業活動はまた、プライベート・バンキング業務の拡大を一層押し進め、当四半期末に運用資産残高が **57** 億米ドルへと膨らみ、さらに、モバイルバンキング・サービスの拡充により利用者数が **140,000** 人に上ったことにも表れています。

ただし、当四半期の営業収益は、**5** 億 **5900** 万ユーロで前年同期と比べて **3.1%**<sup>1</sup> の減収となりました。これには、金利低下によるマイナス要因が、融資の伸びによるプラス要因を上回ったことや、証券業務からの貢献が減少したことが影響しました。

<sup>1</sup> 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除く。



当四半期の営業費用は 3 億 4600 万ユーロで、前年同期と比べて 2.4%<sup>1</sup> 増加しました。法人および小規模事業者向け業務に加え、プライベート・バンキング業務の体制強化に要した費用が増加要因となりました。

リスク費用は当四半期においても低水準にとどまり、融資残高の 25bp 相当となりました（前年同期と比べて 2000 万ユーロの減少）。

以上から、バンクウエストは、当四半期において税引前利益 1 億 9000 万ユーロを計上し、これは前年同期比 2.1%<sup>1</sup> の減益でしたが、その強力な利益創出能力を証明しました。

## パーソナル・ファイナンス

当四半期末におけるパーソナル・ファイナンス部門の融資残高は、前年同期末と比べて 2.4%<sup>1</sup> 減少し、875 億ユーロとなりました。消費者ローン残高は -0.1%<sup>1</sup> の微減でしたが、住宅ローン残高は、バーゼル 3 基準に向けた事業適応計画に沿ったかたちで 5.3%<sup>1</sup> 減少しました。パーソナル・ファイナンス部門は引き続き成長の原動力の開発に力を注ぎ、とりわけドイツではコメルツ銀行との合弁事業で成功を収めました（当四半期の期中平均融資残高は前年同期から 12.7% 増加）。資金流入が引き続き好調で、当四半期末において口座数が 100,000 口を超えるとともに期末残高は合計で 12 億ユーロに上りましたが、ドイツがその大きなシェアを占めていました。

当四半期において営業収益は、住宅ローン残高の縮小が響いて、前年同期比 4.3% 減少し 11 億 7800 万ユーロとなりました。消費者ローン業務からの営業収益は、以下の要因が組み合わさった結果、安定推移しました。すなわち、ベルギー、トルコおよび中欧では営業努力が奏功した一方で、フランスで導入された新規制がマージンおよび取引高へマイナス影響を及ぼしました。

当四半期の営業費用は、事業適応計画の効果を受け、前年同期比 15.2% 減少し 5 億 4700 万ユーロとなりました。これにより、パーソナル・ファイナンス部門は当四半期においてその収益性を大幅に向上させ、営業収益対コスト比率は 6.0 ポイント低下しました。

当四半期のリスク費用は 2012 年度通期の平均水準から安定推移し、3 億 7700 万ユーロで融資残高の 171bp 相当となりました。ただし、一過性の引当金戻入益の影響が大きかった 2012 年度第 1 四半期の水準（3 億 2700 万ユーロ）との比較では上昇していました。

以上から、パーソナル・ファイナンス部門の税引前利益は当四半期に 2 億 7200 万ユーロとなり、前年同期比 3.9% の減益でした。

\*  
\* \*

## インベストメント・ソリューションズ事業

インベストメント・ソリューションズ事業は、当四半期に運用資産残高<sup>2</sup> を伸ばしました。同残高は、当四半期末において 9060 億ユーロに上りましたが、2012 年 12 月末と比べて 1.9% 増加し、また 2012 年 3 月末との比較では 2.9% 増加しました。かかる増加は、主として金融市場の上昇に伴う良好な運用効果に起因しています。

当四半期における純資金流入額は 31 億ユーロに上りましたが、とりわけアジアおよび国内市場における富裕層向け資産運用部門において順調でした。フランス、アジアおよび中南米における保険部門も高水準の資金流入を受け、またドイツを始めとする個人投資家部門でも同様でした。資産運用部門では、資金の純流出

<sup>1</sup> 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除く。

<sup>2</sup> 外部顧客のためのアドバイザー契約資産、分配金、および個人投資家部門を含む。



が起き、特にマネーマーケットファンドがその影響を受けましたが、その一方でエマージング市場業務では高い資金流入がありました。

当四半期末におけるインベストメント・ソリューションズ事業の運用資産残高<sup>1</sup>の内訳は、以下の通りです：資産運用部門は 4040 億ユーロ；富裕層向け資産運用部門は 2770 億ユーロ；保険部門は 1750 億ユーロ；個人投資家部門は 370 億ユーロ；不動産管理部門は 130 億ユーロ。

当四半期においてインベストメント・ソリューションズ事業の営業収益は合計 15 億 6300 万ユーロに上り、前年同期と比べて 2.8%の増収となりました。保険部門の営業収益は、とりわけアジアおよび中南米での貯蓄商品および保障保険の高い伸びを享受し、前年同期比 13.3%増加しました。富裕層向けおよび資産運用部門の営業収益は-0.6%の微減でしたが、これには富裕層向け部門の運用資産残高が順調に伸びた一方で、資産運用部門の期中平均残高の減少がマイナス要因として作用しました。証券管理部門の営業収益は、長らく低金利環境と市場取引の減少を受けて、5.0%の減収となりました。

インベストメント・ソリューションズ事業の当四半期の営業費用は 10 億 5400 万ユーロとなり、前年同期と比べて 0.8%の上昇にとどまりましたが、その主な要因は以下のようになります。すなわち、保険部門では事業の伸びに伴い費用が増加しました。富裕層向けおよび資産運用部門では、特に資産運用部門に対する事業適応計画の効果により、2.5%減少しました。証券管理部門では、営業費用の若干の減少がみられました。これらを受けて、インベストメント・ソリューションズ事業の営業収益対コスト比率は、当四半期において 1.4 ポイント改善し 67.4%へと低下しました。

当事業部門の営業総利益は、当四半期に 5 億 900 万ユーロに上り、前年同期と比べて 7.2%増加しました。

以上から、国内プライベート・バンキングの税引前利益の 3 分の 1 を配分された後、インベストメント・ソリューションズ事業の税引前利益は前年同期比 12.7%の増益となり、5 億 4100 万ユーロに上りました。この業績は、インベストメント・ソリューションズにおける事業の好調さを反映しています。

\*  
\* \*

## コーポレートバンキング・投資銀行 (CIB) 事業

欧州での景気低迷を受け、コーポレートバンキング・投資銀行 (CIB) 事業は当四半期に営業収益 24 億 6100 万ユーロを計上しましたが、これは前年同期と比べて 21.1%の減収でした。

アドバイザーおよびキャピタル・マーケット業務の営業収益は、当四半期に 16 億 8200 万ユーロとなり、LTRO（長期資金供給オペ）が欧州市場に浮揚効果をもたらした前年同期と比べて 25.2%の減収でした。ただし、当四半期の営業収益は、前四半期からは 46.3%の増加を果たしました。当四半期中、不安材料がしばしば欧州市場に緊張をもたらしたことから取引高に波がありました。アジアでは営業収益が伸びました。リスク管理方針の慎重姿勢を反映し、当四半期の平均 VaR（バリュー・アット・リスク）は 3200 万ユーロで依然として極めて低い水準にとどまりました。

フィクスト・インカム業務の営業収益は、当四半期に 12 億 8700 万ユーロとなり、前年同期比 26.8%の減収でしたが、前四半期からは 55.4%増加しました。金利およびクレジット業務が当四半期において低調となった一方で、為替業務が好調でした。当ビジネスユニットは、全ての国際債券発行で No. 8 を受賞するとともに、ユーロ建て全社債発行で No. 1 の地位を保持したことから明らかなように、債券発行におけるグローバルレベルの強力な地位を確認しました。

株式およびアドバイザー業務の営業収益は、当四半期に 3 億 9500 万ユーロとなり、前年同期比では 19.7%の減収でしたが、前四半期からは 22.7%増加しました。その背景には投資家の取引高が低迷した一方

<sup>1</sup> 外部顧客のためのアドバイザー契約資産、分配金、および個人投資家部門を含む。





で、特に欧州およびアジアで仕組商品の取引が活発化したことがありました。当業務部門はエクイティ・リンク債の発行で好業績を上げ、取引件数で欧州ブックランナー第1位、取引高で同第2位にそれぞれランクインしました。

コーポレートバンキング業務の営業収益は、当四半期においても事業適応計画の影響を受け、前年同期と比べ10.7%減少して7億7900万ユーロとなりました。2012年度第1四半期中に実施された融資債権の売却による一時的要因を排除すると、当四半期の営業収益は、融資債権の期中平均残高の減少を反映して、17.7%の減収となります。なお、当四半期末現在の融資債権残高は1050億ユーロに上りました。

欧州の活気を欠く市場環境で需要は低迷しましたが、当業務部門は、ローン・オリジネーションで穏やかな復調を確認しました。組成中の取引件数が緩やかに増加するとともに、当四半期末にはローン残高や営業収益が上昇し始めました。また、当業務部門は、ローン・オリジネーションにおける確固たる地位を強化し、欧州のシンジケートローンにおいて取引高および取引件数ベースの両方でブックランナー第1位を当四半期に受賞しました。

また、コーポレートバンキング業務は預金基盤を拡大し、当四半期末において前年同期比14%<sup>1</sup>増の570億ユーロへと伸ばしました。これには米ドル建ての預金が高い伸びで貢献しました。キャッシュマネジメント業務は事業開発を継続し、重要な新規汎欧州マンドートを複数獲得しました。

CIBの営業費用は、当四半期に15億9000万ユーロとなり、前年同期と比べて16.4%減少しました。事業適応計画の効果で固定費が削減された一方で、事業開発に関わる投資（アジア地域、キャッシュマネジメントなど）がこれを一部相殺しました。CIBの当四半期の営業収益対コスト比率は64.6%でした。

CIBのリスク費用は、当四半期に8000万ユーロとなり、前年同期と比べて若干の増加(+2.6%)でした。コーポレートバンキング業務において、リスク費用は融資残高の26bp相当となり、特定の融資に関わるリスク費用の影響を受けた前四半期からは低下しました。

以上から、当四半期においてCIBの税引前利益は8億600万ユーロとなり、前年同期と比べて30.4%の減益でした。それでも税引前利益の株主資本利益率は22.0%を維持しました。その背景には、融資残高の減少と慎重な市場リスクの管理によって、配賦資本の縮減(-19.3%)が可能になったことがあります。

\*  
\* \*

## コーポレート・センター

コーポレート・センターの営業収益は前年同期に-8億7100万ユーロであったのに対し、当四半期は-6300万ユーロとなりました。これには、とりわけ以下の要因が影響していました。自己負債の再評価に関わる修正額が-2億1500万ユーロ（前年同期は-8億4300万ユーロ）；IFRS（国際会計基準）第13号「公正価値測定」に基づき「債務価値調整（Debit Value Adjustment: DVA）」を新規適用したことによる増収効果+3億6400万ユーロ；および中央銀行への余剰資金の預託に関わる影響です。

営業費用は、前年同期の1億8000万ユーロから、当四半期に2億7300万ユーロへと上昇しましたが、これには“Simple & Efficient”計画に関わる変革のための費用、1億5500万ユーロが上乘せされています。前年同期の営業費用に含まれていた事業再編費用は、6500万ユーロに過ぎませんでした。

当四半期のリスク費用には、ネットベースで少額の引当金戻入益（400万ユーロ）が反映されています。前年同期のリスク費用は、ギリシャ国債に関わる債務交換の影響もあり-2900万ユーロでした。

<sup>1</sup> 期中平均残高。



当四半期において関連会社損益は -6500 万ユーロとなりましたが、これは関連会社のうち減損処理による特別損失を計上したものがあつたことに起因しています。なお、2012 年度第 1 四半期には、関連会社損益は 7600 万ユーロの収益でしたが、これにはクレピエール株式の 28.7%のグループ持分売却による 4000 万ユーロが大きく影響しました。2012 年度第 1 四半期には、かかる持分売却益の多くが、その他営業外項目として反映されていました (+17 億 5000 万ユーロ)。

以上から、コーポレート・センターの税引前損益は当四半期に 3 億 8800 万ユーロの損失となり、これに対し前年同期は 6 億 7200 万ユーロの利益でした。

\*  
\* \*

## 流動性および資金調達

BNPパリバグループの流動性の状況は、極めて良好です。

当グループのキャッシュ・バランスシート<sup>1</sup>は、2013年3月末現在、9680億ユーロに上りました。株主資本、顧客預金および中長期資金の合計額は、顧客業務からの資金需要および有形・無形資産の合計額との比較で、790億ユーロ（うち、米ドル建ては570億ドル）の安定した余剰資金を生み出しました。かかる超過額は、2012年12月末の水準からさらに100億ユーロ積み上がっていました。その結果、安定的な資金は、有形および無形資産を含む顧客業務での資金ニーズの111%相当に達しています。

即時利用可能な流動資産等は、当四半期末で2310億ユーロに上りましたが（2012年12月末現在は2210億ユーロ）、これは短期資金の137%に相当します。

当グループの2013年度の中長期債発行プログラムは、300億ユーロが予定されています。うち、2013年4月中旬までに190億ユーロの資金調達<sup>2</sup>が既実施されており、これらの新発債は、償還期間の平均が5.7年、平均調達コストがミッドスワップレート+76bpで発行が完了しました。従ってグループは、2013年度に予定される中長期債発行プログラムの約3分の2を、有利な条件で既に完了していることとなります。

\*  
\* \*

## 自己資本比率

グループの自己資本比率は、非常に高い水準にあります。

2011 年末に施行された、欧州における資本要求指令 3 (CRD 3) に基づくエクイティ Tier 1 比率は、2013 年 3 月末現在、11.7%となりました。これは 2012 年 12 月末の水準からは 10bp の低下ですが、主に次の 3 つの要因があげられます：(i) 配当予定額を考慮後の 2013 年度第 1 四半期純利益 (20bp のプラス効果)；(ii) CRD4 の施行に先立ち、保険会社へのエクイティ投資に関わる規制変更による影響 (20bp のマイナス効果)；(iii) 従業員給付に関する会計基準の改訂<sup>3</sup> (10bp のマイナス効果)。

<sup>1</sup> バンキング・プルデンシャル・スコープに基づき、また、デリバティブ、レポ、有価証券貸借、および未払金・未収金を相殺後の純額表示のバランスシート。

<sup>2</sup> 2012 年度プログラムで調達された 340 億ユーロとは別に、2012 年末に発行された社債を含む。

<sup>3</sup> IAS (国際会計基準) 第 19R 号「従業員給付」。



経過措置なしで CRD4<sup>1</sup> の規則を全て適用した場合のバーゼル 3 基準（バーゼル 3 全面適用、ただし施行は 2019 年 1 月 1 日以降）に基づくエクイティ Tier 1 比率は、2013 年 3 月末現在、10.0%となりました。これは 2012 年 12 月末の水準からは 10bp の改善ですが、主に次の 2 つの要因が作用しています。(i) 配当に関わる仮定を考慮後の 2013 年度第 1 四半期純利益（20bp のプラス効果）；(ii) 従業員給付に関する会計基準の改訂<sup>2</sup>（10bp のマイナス効果）です。以上から、新規制が施行されても、グループの自己資本比率は非常に高い水準であることを示しているといえます。

\*  
\* \*

以上の決算内容について、ジャン＝ローラン・ボナフェ最高経営責任者は、次のように述べています。

「欧州の脆弱な経済環境の中、BNP パリバグループは、当四半期に 16 億ユーロの純利益を上げました。これにはとりわけ、当グループの適切なコストおよびリスク管理能力が貢献しました。

グループの機能のしかたを簡素化し業務効率を向上させるための大掛かりな計画“Simple & Efficient”が速やかに始動しました。グループの 2014-2016 年度事業開発計画の一つとして、BNP パリバ欧州デジタルバンクの導入が近日中に予定されています。

BNP パリバグループは、世界各国の顧客へのサービス提供に全力を尽くします。」

<sup>1</sup> CRD4 の内容は BNP パリバの予想に基づく。CRD4 の指令内容は一部、解釈に依存するところがある。

<sup>2</sup> IAS 第 19R 号。



## 連結損益計算書

	1Q13	1Q12	1Q13 / 1Q12	4Q12	1Q13/ 4Q12
(単位：百万ユーロ)					
営業収益	10,055	9,886	+1.7%	9,395	+7.0%
営業費用および減価償却費	-6,514	-6,845	-4.8%	-6,801	-4.2%
営業総利益	3,541	3,041	+16.4%	2,594	+36.5%
リスク費用	-978	-945	+3.5%	-1,199	-18.4%
営業利益	2,563	2,096	+22.3%	1,395	+83.7%
関連会社損益	35	154	-77.3%	128	-72.7%
その他営業外項目	17	1,690	-99.0%	-377	n.s.
営業外損益	52	1,844	-97.2%	-249	n.s.
税引前利益	2,615	3,940	-33.6%	1,146	n.s.
法人税	-821	-928	-11.5%	-481	+70.7%
少数株主帰属純利益	-210	-143	+46.9%	-146	+43.8%
株主帰属純利益	1,584	2,869	-44.8%	519	n.s.
営業収益対コスト比率	64.8%	69.2%	-4.4 pt	72.4%	-7.6 pt

BNP パリバの 2013 年度第 1 四半期に関わる財務情報の開示は、本プレスリリース、およびこれに添付したプレゼンテーション資料に含まれています。

法令上要求される開示情報は全て、登録書類を含めて、<http://invest.bnpparibas.com> の「Results (業績)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典 L.451-1-2 条およびフランス金融市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) の一般規則第 222-1 条以降の規定に従い、BNP パリバが公表しています。





2013年度第1四半期 - コア事業部門別業績

	リテール バンキング 事業	インベストメ ント・ソリュー ションズ 事業	コーポレー トバンキング・ 投資銀行 事業	事業部門 合計	その他業務	グループ合計
(単位: 百万ユーロ)						
営業収益	6,094	1,563	2,461	10,118	-63	10,055
対前年同期比	-0.3%	+2.8%	-21.1%	-5.9%	-92.8%	+1.7%
対前四半期比	-1.1%	-2.4%	+24.1%	+3.8%	-81.9%	+7.0%
営業費用および減価償却費	-3,597	-1,054	-1,590	-6,241	-273	-6,514
対前年同期比	-3.3%	+0.8%	-16.4%	-6.4%	+51.7%	-4.8%
対前四半期比	-5.5%	-7.2%	+4.3%	-3.5%	-18.0%	-4.2%
営業総利益	2,497	509	871	3,877	-336	3,541
対前年同期比	+4.2%	+7.2%	-28.6%	-5.3%	-68.0%	+16.4%
対前四半期比	+6.1%	+9.5%	+90.2%	+18.3%	-50.7%	+36.5%
リスク費用	-895	-7	-80	-982	4	-978
対前年同期比	+8.2%	-36.4%	+2.6%	+7.2%	n.s.	+3.5%
対前四半期比	-12.7%	n.s.	-61.2%	-15.9%	n.s.	-18.4%
営業利益	1,602	502	791	2,895	-332	2,563
対前年同期比	+2.0%	+8.2%	-30.7%	-8.8%	-69.3%	+22.3%
対前四半期比	+20.6%	-5.1%	n.s.	+37.3%	-53.5%	+83.7%
関連会社損益	50	35	15	100	-65	35
その他営業外項目	4	4	0	8	9	17
税引前利益	1,656	541	806	3,003	-388	2,615
対前年同期比	+1.6%	+12.7%	-30.4%	-8.1%	n.s.	-33.6%
対前四半期比	+15.8%	-6.9%	n.s.	+32.4%	-65.4%	n.s.

	リテール バンキング 事業	インベストメ ント・ソリュー ションズ 事業	コーポレー トバンキング・ 投資銀行 事業	事業部門 合計	その他業務	グループ合計
(単位: 百万ユーロ)						
営業収益	6,094	1,563	2,461	10,118	-63	10,055
前年同期	6,115	1,521	3,121	10,757	-871	9,886
前四半期	6,160	1,601	1,983	9,744	-349	9,395
営業費用および減価償却費	-3,597	-1,054	-1,590	-6,241	-273	-6,514
前年同期	-3,718	-1,046	-1,901	-6,665	-180	-6,845
前四半期	-3,807	-1,136	-1,525	-6,468	-333	-6,801
営業総利益	2,497	509	871	3,877	-336	3,541
前年同期	2,397	475	1,220	4,092	-1,051	3,041
前四半期	2,353	465	458	3,276	-682	2,594
リスク費用	-895	-7	-80	-982	4	-978
前年同期	-827	-11	-78	-916	-29	-945
前四半期	-1,025	64	-206	-1,167	-32	-1,199
営業利益	1,602	502	791	2,895	-332	2,563
前年同期	1,570	464	1,142	3,176	-1,080	2,096
前四半期	1,328	529	252	2,109	-714	1,395
関連会社損益	50	35	15	100	-65	35
前年同期	55	9	14	78	76	154
前四半期	42	51	4	97	31	128
その他営業外項目	4	4	0	8	9	17
前年同期	5	7	2	14	1,676	1,690
前四半期	60	1	1	62	-439	-377
税引前利益	1,656	541	806	3,003	-388	2,615
前年同期	1,630	480	1,158	3,268	672	3,940
前四半期	1,430	581	257	2,268	-1,122	1,146
法人税						-821
少数株主帰属純利益						-210
株主帰属純利益						1,584



## 連結四半期業績の推移

(単位: 百万ユーロ)	1Q13	4Q12	3Q12	2Q12	1Q12
<b>グループ事業</b>					
営業収益	10,055	9,395	9,693	10,098	9,886
営業費用および減価償却費	-6,514	-6,801	-6,562	-6,335	-6,845
営業総利益	3,541	2,594	3,131	3,763	3,041
リスク費用	-978	-1,199	-944	-853	-945
営業利益	2,563	1,395	2,187	2,910	2,096
関連会社損益	35	128	88	119	154
その他営業外項目	17	-377	31	-42	1,690
税引前利益	2,615	1,146	2,306	2,987	3,940
法人税	-821	-481	-737	-915	-928
少数株主帰属純利益	-210	-146	-243	-222	-143
株主帰属純利益	1,584	519	1,326	1,850	2,869
営業収益対コスト比率	64.8%	72.4%	67.7%	62.7%	69.2%



(単位：百万ユーロ)	1Q13	4Q12	3Q12	2Q12	1Q12
リテールバンキング (フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの100%を含む) * PEL/CELの影響を除く					
営業収益	6,200	6,154	6,212	6,246	6,248
営業費用および減価償却費	-3,653	-3,865	-3,801	-3,763	-3,772
営業総利益	2,547	2,289	2,411	2,483	2,476
リスク費用	-897	-1,024	-822	-832	-827
営業利益	1,650	1,265	1,589	1,651	1,649
営業外損益	54	103	76	51	60
税引前利益	1,704	1,368	1,665	1,702	1,709
インベストメント・ソリューションズ帰属利益	-57	-51	-48	-53	-56
リテールバンキング税引前利益	1,647	1,317	1,617	1,649	1,653
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	33.1	33.7	33.7	33.7	34.0
(単位：百万ユーロ)					
リテールバンキング (フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの2/3を含む)					
営業収益	6,094	6,160	6,162	6,084	6,115
営業費用および減価償却費	-3,597	-3,807	-3,746	-3,707	-3,718
営業総利益	2,497	2,353	2,416	2,377	2,397
リスク費用	-895	-1,025	-820	-833	-827
営業利益	1,602	1,328	1,596	1,544	1,570
営業外損益	54	102	76	51	60
税引前利益	1,656	1,430	1,672	1,595	1,630
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	33.1	33.7	33.7	33.7	34.0
(単位：百万ユーロ)					
国内市場 (フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの100%を含む) * PEL/CELの影響を除く					
営業収益	3,989	3,845	3,901	3,961	4,023
営業費用および減価償却費	-2,433	-2,593	-2,532	-2,494	-2,468
営業総利益	1,556	1,252	1,369	1,467	1,555
リスク費用	-423	-470	-358	-381	-364
営業利益	1,133	782	1,011	1,086	1,191
関連会社損益	12	8	11	10	11
その他営業外項目	1	-5	1	0	3
税引前利益	1,146	785	1,023	1,096	1,205
インベストメント・ソリューションズ帰属利益	-57	-51	-48	-53	-56
国内市場税引前利益	1,089	734	975	1,043	1,149
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	20.6	21.2	21.2	21.3	21.5
(単位：百万ユーロ)					
国内市場 (フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの2/3を含む)					
営業収益	3,883	3,851	3,851	3,799	3,890
営業費用および減価償却費	-2,377	-2,535	-2,477	-2,438	-2,414
営業総利益	1,506	1,316	1,374	1,361	1,476
リスク費用	-421	-471	-356	-382	-364
営業利益	1,085	845	1,018	979	1,112
関連会社損益	12	7	11	10	11
その他営業外項目	1	-5	1	0	3
税引前利益	1,098	847	1,030	989	1,126
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	20.6	21.2	21.2	21.3	21.5

\* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)	1Q13	4Q12	3Q12	2Q12	1Q12
<b>フランス国内リテールバンキング (フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む) *</b>					
<b>営業収益</b>	<b>1,785</b>	<b>1,757</b>	<b>1,767</b>	<b>1,716</b>	<b>1,790</b>
うち受取利息純額	1,085	1,065	1,063	1,020	1,071
うち手数料	700	692	704	696	719
営業費用および減価償却費	-1,081	-1,170	-1,158	-1,108	-1,101
<b>営業総利益</b>	<b>704</b>	<b>587</b>	<b>609</b>	<b>608</b>	<b>689</b>
リスク費用	-80	-80	-66	-85	-84
<b>営業利益</b>	<b>624</b>	<b>507</b>	<b>543</b>	<b>523</b>	<b>605</b>
営業外損益	2	2	1	1	0
<b>税引前利益</b>	<b>626</b>	<b>509</b>	<b>544</b>	<b>524</b>	<b>605</b>
インベストメント・ソリューションズ帰属利益	-35	-29	-29	-30	-33
<b>フランス国内リテールバンキング税引前利益</b>	<b>591</b>	<b>480</b>	<b>515</b>	<b>494</b>	<b>572</b>
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	7.5	7.7	7.8	7.8	7.9
<b>PEL/CEL の影響を除くフランス国内リテールバンキング (フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む) *</b>					
<b>営業収益</b>	<b>1,776</b>	<b>1,644</b>	<b>1,712</b>	<b>1,770</b>	<b>1,813</b>
うち受取利息純額	1,076	952	1,008	1,074	1,094
うち手数料	700	692	704	696	719
営業費用および減価償却費	-1,081	-1,170	-1,158	-1,108	-1,101
<b>営業総利益</b>	<b>695</b>	<b>474</b>	<b>554</b>	<b>662</b>	<b>712</b>
リスク費用	-80	-80	-66	-85	-84
<b>営業利益</b>	<b>615</b>	<b>394</b>	<b>488</b>	<b>577</b>	<b>628</b>
営業外損益	2	2	1	1	0
<b>税引前利益</b>	<b>617</b>	<b>396</b>	<b>489</b>	<b>578</b>	<b>628</b>
インベストメント・ソリューションズ帰属利益	-35	-29	-29	-30	-33
<b>フランス国内リテールバンキング税引前利益</b>	<b>582</b>	<b>367</b>	<b>460</b>	<b>548</b>	<b>595</b>
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	7.5	7.7	7.8	7.8	7.9
<b>フランス国内リテールバンキング (フランス国内プライベート・バンキングの2/3を含む)</b>					
<b>営業収益</b>	<b>1,721</b>	<b>1,700</b>	<b>1,709</b>	<b>1,658</b>	<b>1,730</b>
営業費用および減価償却費	-1,053	-1,141	-1,130	-1,079	-1,074
<b>営業総利益</b>	<b>668</b>	<b>559</b>	<b>579</b>	<b>579</b>	<b>656</b>
リスク費用	-79	-80	-65	-86	-84
<b>営業利益</b>	<b>589</b>	<b>479</b>	<b>514</b>	<b>493</b>	<b>572</b>
営業外損益	2	1	1	1	0
<b>税引前利益</b>	<b>591</b>	<b>480</b>	<b>515</b>	<b>494</b>	<b>572</b>
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	7.5	7.7	7.8	7.8	7.9

\* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む





(単位：百万ユーロ)	1Q13	4Q12	3Q12	2Q12	1Q12
<b>BNL バンカ・コメルシアーレ (イタリア国内プライベート・バンキングの100%を含む) *</b>					
営業収益	823	834	810	813	816
営業費用および減価償却費	-438	-485	-440	-448	-445
<b>営業総利益</b>	<b>385</b>	<b>349</b>	<b>370</b>	<b>365</b>	<b>371</b>
リスク費用	-296	-283	-229	-230	-219
<b>営業利益</b>	<b>89</b>	<b>66</b>	<b>141</b>	<b>135</b>	<b>152</b>
営業外損益	0	1	0	0	0
<b>税引前利益</b>	<b>89</b>	<b>67</b>	<b>141</b>	<b>135</b>	<b>152</b>
インベストメント・ソリューションズ帰属利益	-5	-3	-3	-7	-5
<b>BNL bc 税引前利益</b>	<b>84</b>	<b>64</b>	<b>138</b>	<b>128</b>	<b>147</b>
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	6.4	6.4	6.4	6.3	6.4
(単位：百万ユーロ)	1Q13	4Q12	3Q12	2Q12	1Q12
<b>BNL バンカ・コメルシアーレ (イタリア国内プライベート・バンキングの2/3を含む)</b>					
営業収益	811	824	800	801	805
営業費用および減価償却費	-431	-478	-433	-443	-439
<b>営業総利益</b>	<b>380</b>	<b>346</b>	<b>367</b>	<b>358</b>	<b>366</b>
リスク費用	-296	-283	-229	-230	-219
<b>営業利益</b>	<b>84</b>	<b>63</b>	<b>138</b>	<b>128</b>	<b>147</b>
営業外損益	0	1	0	0	0
<b>税引前利益</b>	<b>84</b>	<b>64</b>	<b>138</b>	<b>128</b>	<b>147</b>
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	6.4	6.4	6.4	6.3	6.4
(単位：百万ユーロ)	1Q13	4Q12	3Q12	2Q12	1Q12
<b>ベルギー国内リテールバンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの100%を含む) *</b>					
営業収益	838	817	833	837	841
営業費用および減価償却費	-598	-613	-612	-621	-604
<b>営業総利益</b>	<b>240</b>	<b>204</b>	<b>221</b>	<b>216</b>	<b>237</b>
リスク費用	-21	-51	-28	-41	-37
<b>営業利益</b>	<b>219</b>	<b>153</b>	<b>193</b>	<b>175</b>	<b>200</b>
関連会社損益	1	4	4	4	5
その他営業外項目	1	-5	1	2	3
<b>税引前利益</b>	<b>221</b>	<b>152</b>	<b>198</b>	<b>181</b>	<b>208</b>
インベストメント・ソリューションズ帰属利益	-16	-18	-15	-16	-17
<b>ベルギー国内リテールバンキング税引前利益</b>	<b>205</b>	<b>134</b>	<b>183</b>	<b>165</b>	<b>191</b>
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	3.6	3.7	3.6	3.6	3.6
(単位：百万ユーロ)	1Q13	4Q12	3Q12	2Q12	1Q12
<b>ベルギー国内リテールバンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの2/3を含む)</b>					
営業収益	802	780	798	801	804
営業費用および減価償却費	-579	-593	-593	-601	-584
<b>営業総利益</b>	<b>223</b>	<b>187</b>	<b>205</b>	<b>200</b>	<b>220</b>
リスク費用	-20	-52	-27	-41	-37
<b>営業利益</b>	<b>203</b>	<b>135</b>	<b>178</b>	<b>159</b>	<b>183</b>
関連会社損益	1	4	4	4	5
その他営業外項目	1	-5	1	2	3
<b>税引前利益</b>	<b>205</b>	<b>134</b>	<b>183</b>	<b>165</b>	<b>191</b>
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	3.6	3.7	3.6	3.6	3.6

\* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)	1Q13	4Q12	3Q12	2Q12	1Q12
<b>パーソナル・ファイナンス</b>					
<b>営業収益</b>	<b>1,178</b>	<b>1,267</b>	<b>1,240</b>	<b>1,244</b>	<b>1,231</b>
営業費用および減価償却費	-547	-571	-589	-595	-645
<b>営業総利益</b>	<b>631</b>	<b>696</b>	<b>651</b>	<b>649</b>	<b>586</b>
リスク費用	-377	-432	-364	-374	-327
<b>営業利益</b>	<b>254</b>	<b>264</b>	<b>287</b>	<b>275</b>	<b>259</b>
関連会社損益	17	18	21	24	24
その他営業外項目	1	67	24	4	0
<b>税引前利益</b>	<b>272</b>	<b>349</b>	<b>332</b>	<b>303</b>	<b>283</b>
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	4.8	5.0	5.0	5.0	5.1
<b>欧州・地中海沿岸諸国</b>					
<b>営業収益</b>	<b>474</b>	<b>481</b>	<b>454</b>	<b>448</b>	<b>413</b>
営業費用および減価償却費	-327	-345	-323	-333	-318
<b>営業総利益</b>	<b>147</b>	<b>136</b>	<b>131</b>	<b>115</b>	<b>95</b>
リスク費用	-71	-89	-66	-45	-90
<b>営業利益</b>	<b>76</b>	<b>47</b>	<b>65</b>	<b>70</b>	<b>5</b>
関連会社損益	21	17	15	13	20
その他営業外項目	-1	1	1	-1	1
<b>税引前利益</b>	<b>96</b>	<b>65</b>	<b>81</b>	<b>82</b>	<b>26</b>
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	3.5	3.5	3.5	3.4	3.3
<b>バンクウエスト</b>					
<b>営業収益</b>	<b>559</b>	<b>561</b>	<b>617</b>	<b>593</b>	<b>581</b>
営業費用および減価償却費	-346	-356	-357	-341	-341
<b>営業総利益</b>	<b>213</b>	<b>205</b>	<b>260</b>	<b>252</b>	<b>240</b>
リスク費用	-26	-33	-34	-32	-46
<b>営業利益</b>	<b>187</b>	<b>172</b>	<b>226</b>	<b>220</b>	<b>194</b>
営業外損益	3	-3	3	1	1
<b>税引前利益</b>	<b>190</b>	<b>169</b>	<b>229</b>	<b>221</b>	<b>195</b>
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0



(単位：百万ユーロ)	1Q13	4Q12	3Q12	2Q12	1Q12
<b>インベストメント・ソリューションズ</b>					
<b>営業収益</b>	<b>1,563</b>	<b>1,601</b>	<b>1,516</b>	<b>1,566</b>	<b>1,521</b>
営業費用および減価償却費	-1,054	-1,136	-1,077	-1,069	-1,046
<b>営業総利益</b>	<b>509</b>	<b>465</b>	<b>439</b>	<b>497</b>	<b>475</b>
リスク費用	-7	64	4	-3	-11
<b>営業利益</b>	<b>502</b>	<b>529</b>	<b>443</b>	<b>494</b>	<b>464</b>
関連会社損益	35	51	41	35	9
その他営業外項目	4	1	14	1	7
<b>税引前利益</b>	<b>541</b>	<b>581</b>	<b>498</b>	<b>530</b>	<b>480</b>
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	8.3	8.1	8.0	7.9	7.9
<b>富裕層向け資産運用</b>					
<b>営業収益</b>	<b>702</b>	<b>738</b>	<b>682</b>	<b>710</b>	<b>706</b>
営業費用および減価償却費	-509	-561	-523	-529	-522
<b>営業総利益</b>	<b>193</b>	<b>177</b>	<b>159</b>	<b>181</b>	<b>184</b>
リスク費用	-3	54	3	1	-6
<b>営業利益</b>	<b>190</b>	<b>231</b>	<b>162</b>	<b>182</b>	<b>178</b>
関連会社損益	7	7	6	12	7
その他営業外項目	0	0	10	1	5
<b>税引前利益</b>	<b>197</b>	<b>238</b>	<b>178</b>	<b>195</b>	<b>190</b>
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	1.8	1.8	1.8	1.8	1.9
<b>保険</b>					
<b>営業収益</b>	<b>538</b>	<b>525</b>	<b>495</b>	<b>475</b>	<b>475</b>
営業費用および減価償却費	-257	-274	-253	-241	-234
<b>営業総利益</b>	<b>281</b>	<b>251</b>	<b>242</b>	<b>234</b>	<b>241</b>
リスク費用	-4	2	1	-4	-5
<b>営業利益</b>	<b>277</b>	<b>253</b>	<b>243</b>	<b>230</b>	<b>236</b>
関連会社損益	28	41	35	23	1
その他営業外項目	4	0	-2	1	1
<b>税引前利益</b>	<b>309</b>	<b>294</b>	<b>276</b>	<b>254</b>	<b>238</b>
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	6.0	5.7	5.6	5.6	5.5
<b>証券管理</b>					
<b>営業収益</b>	<b>323</b>	<b>338</b>	<b>339</b>	<b>381</b>	<b>340</b>
営業費用および減価償却費	-288	-301	-301	-299	-290
<b>営業総利益</b>	<b>35</b>	<b>37</b>	<b>38</b>	<b>82</b>	<b>50</b>
リスク費用	0	8	0	0	0
<b>営業利益</b>	<b>35</b>	<b>45</b>	<b>38</b>	<b>82</b>	<b>50</b>
営業外損益	0	4	6	-1	2
<b>税引前利益</b>	<b>35</b>	<b>49</b>	<b>44</b>	<b>81</b>	<b>52</b>
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	0.5	0.5	0.6	0.6	0.5



(単位：百万ユーロ)	1Q13	4Q12	3Q12	2Q12	1Q12
<b>コーポレートバンキング・投資銀行</b>					
営業収益	2,461	1,983	2,381	2,230	3,121
営業費用および減価償却費	-1,590	-1,525	-1,476	-1,407	-1,901
<b>営業総利益</b>	<b>871</b>	<b>458</b>	<b>905</b>	<b>823</b>	<b>1,220</b>
リスク費用	-80	-206	-190	-19	-78
<b>営業利益</b>	<b>791</b>	<b>252</b>	<b>715</b>	<b>804</b>	<b>1,142</b>
関連会社損益	15	4	15	6	14
その他営業外項目	0	1	-7	1	2
<b>税引前利益</b>	<b>806</b>	<b>257</b>	<b>723</b>	<b>811</b>	<b>1,158</b>
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	14.6	16.3	16.7	17.2	18.1
<b>アドバイザリーおよびキャピタル・マーケット</b>					
(単位：百万ユーロ)	1Q13	4Q12	3Q12	2Q12	1Q12
営業収益	1,682	1,150	1,576	1,207	2,249
営業費用および減価償却費	-1,179	-1,083	-1,068	-962	-1,474
<b>営業総利益</b>	<b>503</b>	<b>67</b>	<b>508</b>	<b>245</b>	<b>775</b>
リスク費用	-14	13	-17	-94	37
<b>営業利益</b>	<b>489</b>	<b>80</b>	<b>491</b>	<b>151</b>	<b>812</b>
関連会社損益	9	-1	2	2	9
その他営業外項目	0	-2	-7	1	2
<b>税引前利益</b>	<b>498</b>	<b>77</b>	<b>486</b>	<b>154</b>	<b>823</b>
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	7.0	7.9	8.1	8.3	8.8
<b>コーポレートバンキング</b>					
(単位：百万ユーロ)	1Q13	4Q12	3Q12	2Q12	1Q12
営業収益	779	833	805	1,023	872
営業費用および減価償却費	-411	-442	-408	-445	-427
<b>営業総利益</b>	<b>368</b>	<b>391</b>	<b>397</b>	<b>578</b>	<b>445</b>
リスク費用	-66	-219	-173	75	-115
<b>営業利益</b>	<b>302</b>	<b>172</b>	<b>224</b>	<b>653</b>	<b>330</b>
営業外損益	6	8	13	4	5
<b>税引前利益</b>	<b>308</b>	<b>180</b>	<b>237</b>	<b>657</b>	<b>335</b>
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	7.6	8.4	8.6	8.9	9.3
<b>コーポレート・センター（クレピエールを含む）</b>					
(単位：百万ユーロ)	1Q13	4Q12	3Q12	2Q12	1Q12
営業収益	-63	-349	-366	218	-871
営業費用および減価償却費	-273	-333	-263	-152	-180
うち事業再編費用	-155	-174	-66	-104	-65
<b>営業総利益</b>	<b>-336</b>	<b>-682</b>	<b>-629</b>	<b>66</b>	<b>-1,051</b>
リスク費用	4	-32	62	2	-29
<b>営業利益</b>	<b>-332</b>	<b>-714</b>	<b>-567</b>	<b>68</b>	<b>-1,080</b>
関連会社損益	-65	31	-15	31	76
その他営業外項目	9	-439	-5	-48	1,676
<b>税引前利益</b>	<b>-388</b>	<b>-1,122</b>	<b>-587</b>	<b>51</b>	<b>672</b>





## 連結貸借対照表 - 2013年3月31日現在

(単位：百万ユーロ)	2013年3月 31日現在	2012年12月 31日現在 (修正後)
<b>資産</b>		
現金ならびに中央銀行および郵政勘定預け金	78,904	103,190
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産		
売買目的有価証券	165,567	143,465
貸出金およびレポ取引	171,364	146,899
純損益を通じて公正価値で測定する商品	65,764	62,800
デリバティブ金融商品	388,197	410,635
ヘッジ目的デリバティブ	12,413	14,267
売却可能金融資産	198,520	192,506
金融機関貸出金および債権	49,456	40,406
顧客貸出金および債権	634,337	630,520
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	7,110	5,836
満期保有目的金融資産	10,265	10,284
当期および繰延税金資産	8,512	8,732
未収収益およびその他の資産	134,036	99,207
保険契約者余剰金	0	0
関連会社に対する投資	7,061	7,031
投資不動産	919	927
有形固定資産	17,095	17,319
無形固定資産	2,580	2,585
のれん	10,626	10,591
<b>資産合計</b>	<b>1,962,727</b>	<b>1,907,200</b>
<b>負債</b>		
中央銀行および郵政勘定預金	947	1,532
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債		
売買目的有価証券	72,321	52,432
借入金およびレポ取引	233,637	203,063
純損益を通じて公正価値で測定する商品	45,698	43,530
デリバティブ金融商品	385,555	404,598
ヘッジ目的デリバティブ	15,765	17,286
金融機関預金	92,427	111,735
顧客預金	550,392	539,513
負債証券	176,624	173,198
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	3,571	2,067
当期および繰延税金負債	2,973	2,944
未払費用およびその他の負債	111,740	86,691
保険会社の責任準備金	150,163	147,992
偶発債務引当金	11,264	11,379
劣後債	14,184	15,223
<b>負債合計</b>	<b>1,867,258</b>	<b>1,813,183</b>
<b>連結資本</b>		
資本金、払込剰余金、および利益剰余金	82,435	75,654
株主帰属当期純利益	1,584	6,564
資本金、利益剰余金、および株主帰属当期純利益合計	84,019	82,218
資本に直接認識される資産および負債の変動	3,505	3,226
<b>株主資本合計</b>	<b>87,524</b>	<b>85,444</b>
少数株主帰属利益剰余金および当期純利益	7,500	8,161
資本に直接認識される資産および負債の変動	445	412
<b>少数株主持分合計</b>	<b>7,944</b>	<b>8,573</b>
<b>連結資本合計</b>	<b>95,469</b>	<b>94,017</b>
<b>負債および資本合計</b>	<b>1,962,727</b>	<b>1,907,200</b>

IAS第19号改訂の適用により、2012年度の数値を修正済み。



厳しい経済環境の中、株主帰属純利益 16 億ユーロを達成	2
リテールバンキング事業	3
国内市場部門	3
インベストメント・ソリューションズ事業	7
コーポレートバンキング・投資銀行 (CIB) 事業	8
コーポレート・センター	9
流動性および資金調達	10
自己資本比率	10
連結損益計算書	12
2013 年度第 1 四半期 — コア事業部門別業績	13
連結四半期業績の推移	14
連結貸借対照表 — 2013 年 3 月 31 日現在	21

本プレゼンテーションに含まれる数値は、未監査の数値です。2013 年 4 月 18 日に、BNP パリバは、2012 年度の四半期決算に関わる修正を発表しました。かかる修正には次の 2 点が特に反映されています：(i) IAS 第 19 号「従業員給付」の改訂は、グループの 2012 年度税引前利益に対して 7 百万ユーロの押し上げ効果をもたらし、その調整額は該当部門および業務の営業費用へ再配分されました；(ii) 一時的にコーポレート・センターで計上していた項目を、部門および業務へ配分しました。これらの修正決算報告において、2012 年度に関する数値は、あたかも取引が 2012 年 1 月 1 日に実行されたかのように表示されています。本プレゼンテーションは、修正された 2012 年度の四半期数値に基づいています。

本プレゼンテーションには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の予測や見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNP パリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNP パリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくは BNP パリバの主要地域市場における経済状況の変化、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレゼンテーションに含まれるいかなる予測的な記述も本プレゼンテーション発行日現在の予測であり、BNP パリバは、新たな情報や将来の事象によって、予測的な記述を公に修正もしくは更新する責任を負いません。

本プレゼンテーションに含まれる BNP パリバ以外の第三者に関する情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、その真実たることを独立に確認したものではありません。ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはおらず、またその公正性、正確性、完全性または正当性に関しては確実なものではありません。BNP パリバもしくはその代表者ともに、いかなる過失に対しても責任を負わず、また本プレゼンテーションあるいはその内容の使用により生じる、もしくは本プレゼンテーションやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。